

[I] マガジン (アイ・アイ マガジン 略してアイマガ!) 第四号

配信日 2006.9.5

朝晩はだいぶ涼しくなりましたが、まだまだ暑い日が続いています。製紙業界でも熱い戦いが繰り広げられましたね。今月は新聞紙上を賑わせているM&Aを特集しました。

\*\*\*\*\*

このメールマガジンは国際・インターフェイスとお取引のあるお客様、登録翻訳者、名刺交換をさせて頂いた方にお送りしています。

今後ご不要の方は大変お手数ですが[info@i-interface.com](mailto:info@i-interface.com)までお知らせ頂けますようお願い致します。

なお皆様の個人情報は弊社が責任をもって厳重に管理いたしております。

\*\*\*\*\*

【もくじ】

<1> M&Aの英単語

<2> 六本木移転のお知らせ

<3> 新オフィスのここが好き！

<1>M&Aの英単語

約 15 年から 20 年前、米国で花盛りだった敵対的企業買収 (Hostile Take-Over)。日本ではこれまでほとんど成功例とよべるものがなかった中、徐々に敵対的 TOB の事例が現れています。つい最近では、失敗に終わったものの、大手企業で日本初ともいえる王子製紙の北越製紙に対する敵対的 TOB が新聞紙上を賑わせています。

企業買収 (Merger & Acquisition) 取引では、ちょっと変わった英単語が使われることが多く、今回は敵対的企業買収の防衛策に関する英単語に焦点をあて、今回の王子製紙と北越製紙の例にあてはめてご紹介してみたいと思います。

まずは、"White Knight (白馬の騎士)"。これは敵対的な買収の標的となった会社が、他により友好的な買収希望会社を探し出し、M&A を受け入れてもらう防衛策をいいます。北越製紙の経営陣にとっての White Knight は、三菱商事になります。

次に、"Pac-Man (逆買収)"。これは 1980 年代に一世を風靡したテレビゲームに因んだ買収防衛策で、敵対的な買収の標的となった会社が、買収しようとする会社を逆に買収してしまう防衛策をいいます。さすがに業界 No.1 の王子製紙に対して北越製紙が Pac-Man を実行するのは無理ですよ。

ちょっと気になる名前なのが "Golden Parachute (金の落下傘)"。これは敵対的な買収が成功し、役員が退任させられる場合に備え、多額の割増退職慰労金等の支払いをあらかじめ設定しておくことで買収コストを増大させて防衛を試みる手法です。取締役会で退職慰労金の支払を決定できる米国と違って、株主総会で退職慰労金の支払を決定する日本ではちょっと難しい手法のようです。

ちなみに一般社員に対して割増退職慰労金を設定しておくことを“Tin Parachute(ブリキの落下傘)”といいます。…金とブリキ、格差を感じます。

最近よく聞きなれているのが “Poison Pill(毒薬)”。これには様々な内容のものがありますが、抽象的には、敵対的買収の標的とされた企業が、敵対的な買収が実行された場合に買収しようとする会社に不利になるような手段を事前に講じておくことをいいます。例えば、王子が一定量の株式を買収したときに、北越の既存株主に極めて有利な条件で株式の買取権を与えるような手法です。これはフジテレビとライブドアの買収攻防でも使われた手法です。(差し止められましたが…)

また、“Crown Jewels(王冠の宝石)”も有名です。これは、敵対的な買収の標的とされた会社が、その会社の重要な資産を購入できるオプションを第三者に与え、買収しようとする企業が買収目的を実現出来ないようにする手法をいいます。例えば王子が欲していた北越の最新鋭の新潟工場を三菱商事に売ってしまい、王子が買収しても新潟工場は手に入らないようにする手法です。

上述した以外にも、まだまだ企業買収(M&A)取引には、普段とは違う意味を持つ、不思議な英単語が盛り沢山です。これらの英単語の意味を理解すれば、M&Aの専門家になれる日は近いはず？！

#### <2>六本木移転のお知らせ

先日ご案内しました通り、8月28日よりインターナショナル・インターフェイスは六本木に移転しました。弊社もついにヒルズ族の仲間入り?!と思いきや、新オフィスは六本木通りをはさんだヒルズの対面に位置しており、ヒルズふもと族になりました。

#### \*\*\*新住所\*\*\*

〒106-0032 東京都港区六本木3-7-22-309

TEL:03-5414-6130

FAX:03-5414-6131

\*メールアドレスに変更はございません:info@i-interface.com

東京メトロ六本木駅2番出口より徒歩1分半。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください！

#### <3> 社員に聞きました:「新オフィスのここが好き！」

(浜田菜子:マネージャー)べらんめえ調でお話してくれる優しい管理人さん。六本木なのに下町風です。

(森本尚子:翻訳コーディネーター)ちょっと欧風な外観と六本木なのになぜか窓から見える竹林

(佐藤光代:品質コーディネーター)とってもお洒落な内装。どこもかしこもピカピカです。

(シュリットデトリツヒ桃子:品質コーディネーター)お風呂もキッチンもついて、適度にくつろげるところ(まだここでお風呂に入ったことはありませんが。。。)

(廣瀬紀彦:社長)社員が泊まり込みで働ける環境が整ったこと---(働かないぞぉ!…一同)

#### 【編集後記】(担当:佐藤)

今回は個人的興味からM&Aを取り上げました。約1ヶ月半にわたり、新聞紙上を賑わせた王子製紙と北越製紙の買収攻防劇。三菱商事や、日本製紙の登場など、まるでドラマを見ているようでした。日本企業の「紳士協定」が崩れたといわれる今、今後のM&Aが気になるところです。



発行元:株式会社 インターナショナル・インターフェイス  
ホームページ: <http://www.i-interface.com>  
配信停止のご連絡:佐藤:[info@i-interface.com](mailto:info@i-interface.com)

このメルマガがお気に召しましたら、社内社外を問いませんので、気兼ねなさらずに転送してください！